

2014年度 理学部 生物科学科専攻科目教育課程表(2007年度入学者に適用)

【備考】

◇印はコース別選択必修科目を示す。○印は原則としていずれか一方を選択履修する科目を示す。×印は、どちらか一方のみ履修できる科目を示す。★は配当期変更科目を示す。

【履修要件】

- 1 同一科目は重複して履修することはできない。
- 2 専攻科目A群の科目は、上位年次の科目を履修することはできない。
- 3 ◎印の授業科目を履修する場合は、原則としていずれか1科目履修することとし、かつ上位年次の履修はできない。また、履修制限をする場合がある。
- 4 他学部他学科の科目及び理学部他学科の専攻科目を履修した場合、16単位まで関連科目に算入することができる。
- 5 他学部他学科が受講を認めない授業科目は履修できない。
- 6 教職課程登録者で教職に関する科目の講義科目(「教育原論Ⅰ」、「教育原論Ⅱ」、「教育心理学」、「道德教育論」、「生徒指導論」、「特別活動論」、「カウンセリング概論」)のうち10単位に限り、上記4と併せて関連科目16単位の中に算入することができる。
- 7 「生物科学実験Ⅱ」は、次の科目の単位を取得した者でなければ履修できない。
(1)「生物科学実験Ⅰ」3単位
- 8 「科学技術英語Ⅰ・Ⅱ」は、外国語科目「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「理系英語Ⅰ」、「理系英語Ⅱ」のうちから、ⅠとⅡの組み合わせで4単位を修得した者のみ履修できる。
ただし、未修得者であっても、工業英語検定3級以上及び実用英語技能検定2級以上に合格している者は、履修することができる。
- 9 「数学演習Ⅰ」は、「解析Ⅰ」、「線形代数Ⅰ」の履修者が履修できる。「数学演習Ⅱ」は、「解析Ⅱ」、「線形代数Ⅱ」の履修者が履修できる。

【コース制】

- 1 1年次から「生化学・分子生物学(A)コース」、「個体・細胞生物学(B)コース」及び「自然史・生態学(C)コース」に分かれる。
- 2 コース登録は、1年次の履修登録時に行う。
- 3 コースの変更を希望する者は、2年次当初又は3年次当初に学部長に申請し、許可を得ること。

【卒業研究Ⅰ・Ⅱ履修資格】

- 1 3年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち104単位以上を修得した者。
(1) FYS(First Year Seminar)2単位、外国語科目4単位を含む基礎科目から23単位以上
(2) 卒業研究Ⅰ・Ⅱ及び輪講Ⅰ・Ⅱを除く主要科目の全ての科目

【学外単位認定制度】

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の単位とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含まない。
- (1) 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - (2) 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - (3) 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【生物科学科卒業要件】

授業科目	基礎科目				専攻科目			合計	
	FYS	外国語科目	教養系科目	キャリア形成科目	A群 主要科目	B群 基礎系科目	C群 生物系科目 関連科目		
入学年度	2	4	17		25	10	36	32	126
入学			23			46			

- 1 4年以上在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 基礎科目から23単位以上修得すること。23単位を超えた単位は、8単位までC群の関連科目に算入することができる。
- 3 キャリア形成科目は、1単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 4 主要科目から25単位修得すること。
- 5 専攻科目B群から次の内訳で46単位以上修得すること。46単位を超えた単位は全てC群の関連科目に算入することができる。
(1) 基礎系科目から10単位以上
(2) 生物系科目から36単位以上
- 6 関連科目から32単位以上修得すること。
- 7 別表のコース別必修・選択必修科目表の単位修得要件を満たすこと。
- 8 総合理学プログラムから生物科学科に所属された学生は、総合理学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を生物科学科の専攻科目に置き換えることができる。